

大会宣言

新社会党東京都本部は本日、第28回定期大会を開催した。

「ロシアのウクライナ侵攻」「台湾有事」に便乗した大軍拡と「軍事費財源確保法」などの悪法の強行や内閣決定が続いている。それらは憲法の破壊であり、戦争への道である。この道を自公政権と維新・国民民主等は推進している。

しかし、その道は、全ての人々のいのち・暮らし・社会保障を犠牲にする道でもある。その一端は5年間で43兆円の軍事費に現れている。

私たちは、各地で、野党共闘や、市民との共闘で、あるいは党独自の運動として「戦争反対」「核廃絶」「南西諸島軍事拠点化反対」などの声を上げ憲法破壊攻撃と闘ってきた。非武装・中立の日本国憲法が示す道こそが最大の戦争抑止力である。私たちは憲法を生かすために全力で活動する。

早ければ、今秋にも解散・総選挙がある。改憲発議を阻止し、「新たな戦前」にさせないために全力で闘う。

いま、日本は、耐えられない格差と貧困の拡大、労働条件の劣化、気候変動危機、環境破壊、地方衰退、人口減少などが進んでいる。大元は資本主義社会の抱える基本的矛盾の露呈である。資本主義に代わる新しい社会主義への希求運動が世界的に広がっている。私たちはこうした様々な課題に対し、連帯して闘い、右翼ポピュリズムの進出を許さない。

来年夏には都知事選がある。私たちは羽田空港増便に伴う都心低空飛行に反対する闘い、外環道・大型幹線道路建設反対の闘い、朝鮮学校に通う子どもたちへの差別反対の闘い等々を闘ってきた。

さらに、オスプレイと有機フッ素化合物の横田基地問題、明治神宮外苑の樹木伐採に象徴される金儲け主義の再開発問題。そして人権感覚欠如と歴史修正主義の都知事本人がいる。

小池都政にストップをかけ、貧困層拡大の中で生活・環境・人権重視の都政を市民と労働者・立憲野党と共に実現するために全力を尽くす。

私たちは憲法を生かす闘いや都政の課題だけでなく、多くの課題にも汗を流してきた。脱原発の闘い、マイナンバーカード拡大反対の闘い、JALの解雇撤回の闘い、日通の無期転換実現の闘い、ユニオンの闘い、あらゆる差別を許さない闘い等々である。

本大会で私たちは、発言を通じて様々な課題を共有化した。各地域で、職場で、様々な闘いを通じて、新たな仲間を獲得し、機関紙を拡大し、議員を増やし、新しい世代に組織・運動を引き継ぐことを改めて決意する。

以上、宣言する。

2023年8月6日 新社会党東京都本部第28回定期大会